

平成22年度 電力需給状況

需要の概要

平成22年度の販売電力量は、291億kWh時、前年比105.8%となった。

〔需要の内訳〕

家庭用などの「電灯」は、前年に比べ夏季が高気温、冬季が低気温で推移し、冷暖房需要が増加したことなどから、前年比107.0%となった。

事務所ビル・大型商店などの「業務用電力」は、「電灯」と同様の気温要因などから、前年比103.3%となった。

産業用の「大口電力」は、生産活動の持ち直しを背景に全ての主要業種が前年を上回り、前年比108.4%となった。

需要実績

		(百万kWh時、%)	
		電力量	前年比
特定規模需要 以外の需要	電 灯	10,130	107.0
	電 力	1,918	102.6
	計	12,048	106.3
特定規模需要 (自由化対象)	業務用電力	6,560	103.3
	産業用電力	10,492	106.9
	うち大口電力	(8,220)	(108.4)
	計	17,052	105.5
販売電力量 計		29,100	105.8
融 通		5,123	148.7

注：特定規模需要は、特別高圧電力および高圧電力の合計。

大口電力の主な産業別内訳

		(百万kWh時、%)		
	電力量	前年比		
		22年度	21年度	20年度
織 維	373	118.4	71.1	83.5
紙・パルプ	1,534	103.6	82.4	96.6
化 学	1,213	105.5	89.5	92.8
鉄 鋼	924	113.6	86.9	101.0
機 械	1,865	112.8	96.2	97.1
そ の 他	2,311	106.5	96.3	99.7
合 計	8,220	108.4	89.9	97.0

供給の概要

- 原子力は、定期検査の影響により、前年比114.2%となった。
- 水力は、前年度の湯水の影響により、前年比123.1%となった。
- 火力は、需要の増加などにより、前年比103.5%となった。

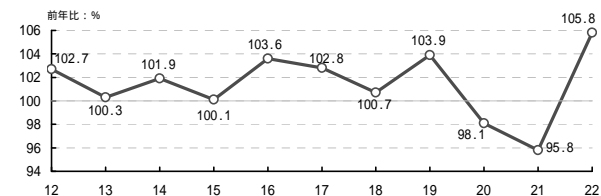
供給実績

		(百万kWh時、%)		
	電力量	前年比	備 考	
			原子力	(43) 16,104
水 力	(9) 3,277	123.1		
火 力	(47) 17,913	103.5		
新エネ	(1) 467	132.5		
発受電計	(100) 37,761	109.7		
その他	169			
供 給 計	37,592	109.8		

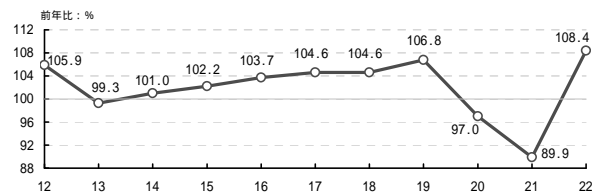
注1：新エネにはバイオマス(84百万kWh時)を含む 注2：()内は構成比

注3：四捨五入の関係で、合計が合わないことがある

(参考1) 販売電力量の前年比の推移



(参考2) 大口電力の前年比の推移



(参考3) 4県都平均気温

		()			
		7月	8月	9月	7～9月
夏季	実績	27.2	29.7	26.4	27.8
	平年差	0.7	2.4	2.6	1.9
	前年差	0.7	2.1	1.8	1.6
		1月	2月	3月	1～3月
冬季	実績	4.1	7.5	8.4	6.7
	平年差	1.7	1.4	0.9	0.4
	前年差	2.1	0.9	1.7	1.5

(参考4) 各県別の需要状況

		(百万kWh時、%)			
		徳 島	高 知	愛 媛	香 川
販売電力量計		(106.1)	(106.0)	(105.6)	(105.8)
		6,479	4,790	10,126	7,705

注：()内は前年比